

『このゆびとまれプロジェクト』

～誰ひとり取り残さない地域共生社会の実現へ～



『子ども食堂・子育てサロンを
地域共生拠点とした居場所づくり事業』

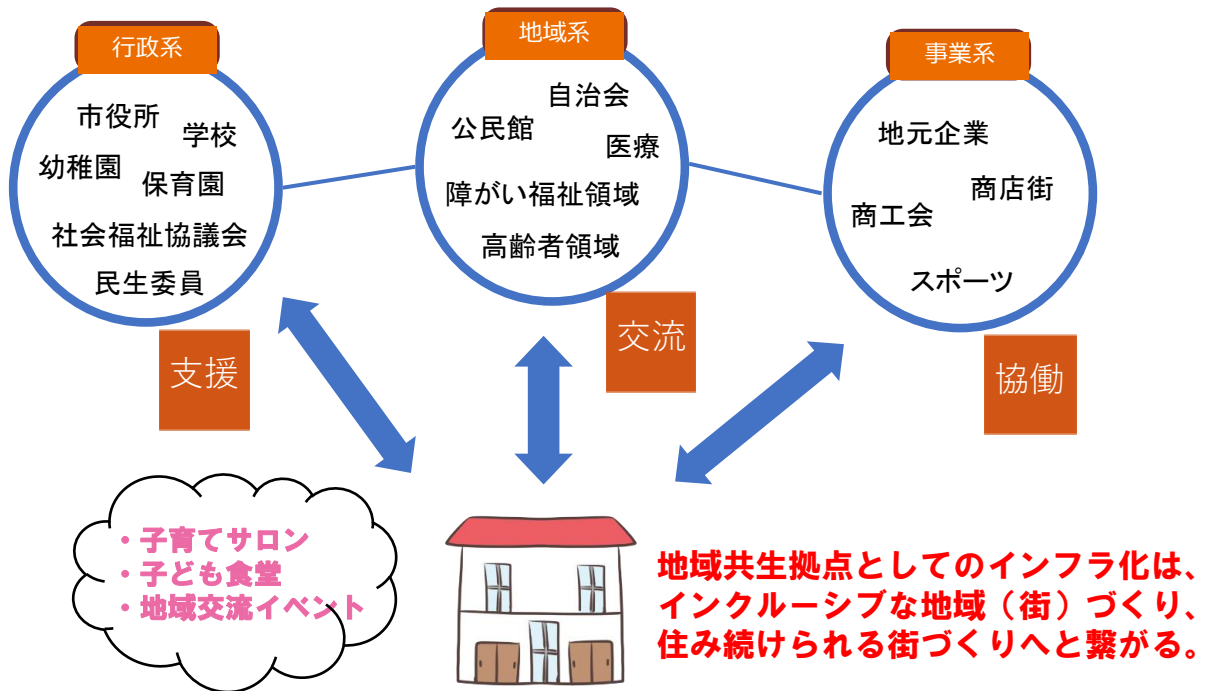
Route 1 4 8 内における産学福連携の実践

愛敬園 in Route 148

このゆびとまれプロジェクト

～誰ひとり取り残さない地域共生社会の実現へ～

【子育てサロン（子育て相談）】 【子ども食堂】
【地域交流イベント】を地域の共生拠点として



子ども食堂

おむすびころりん

毎月 第二水曜日(夕食)

16:00~18:00

中学生以下：100円

高・大学生：200円

大人：300円

※50食限定

LINEからご予約下さい。

当日分でも若干数はあります

のでお問い合わせ下さい。



LINE



AIKEIEN1974.IN.ROUTE_148

インスタ

子育てサロン(子育て相談)

毎週 火曜日・金曜日(午前)

10:00~13:00

専門知識を有するスタッフが常駐しています。

些細な事でも結構ですので、気軽にご相談下さい。もちろん無料です。

キッズスペースや絵本・玩具などをご用意しております。遊びに来て下さいね。

子育てイベント実施時はSNS等でお知らせいたします。

お問い合わせ先 担当: 中込(ナカゴメ)

電話: 011-676-9409

メール: aikeien@aikeien.or.jp

地域交流イベント

毎月 土曜日1回

毎月1回、不定期ではありますが色々なイベントを企画しております。

イベントの内容によっては予約が必要になる場合があります。詳細につきましてはSNS等ご確認下さい。

各種楽しいイベントを実施しますのでどうぞ遊びに来て下さい。

社会福祉法人

愛敬園 ×

Route 148
ルートインヤ

住所：西区宮の沢1条1丁目4-3

しあわせを
つくるお菓子

ISHIYA

ISHIYA がおくる

新コミュニティースペース。

西の町がもっと好きになる。

産

2024 5.15 (WED)

NEW OPEN!

ルートイシヤ オープン!

地域の交流の場に



イベントも開催予定!



ちょっぴり欠けてしまった
「白い恋人」を販売!

オリジナルジェラートや
店内仕込みの焼き菓子も

5日間オープン記念!

期間: 5/15 (水) ▶ 5/19 (日)

窯出しアイガトー
通常価格 250 円 (税込)

数量限定!
オープン記念価格 100 円!

※おひとりさま 1 個まで
※時間帯によりご提供できない場合がございます。

札幌市西区宮の沢1条1丁目4-3
TEL:090-1993-5247(代表)
営業時間:10時~18時(飲食11時~17時)
定休日:不定休
URL: <https://route148.ishiya.co.jp/>
Instagram route148_ishiya

詳しくは
公式 HP にて!



MAP



子育てサロン

毎週火曜・金曜 10:00~13:00

保育士に気軽に相談出来る環境を提供する事で、安心して足を運んで欲しいと想っています。
Route148という施設ならではの、ジェラートやコーヒーの販売など、他のサロンには無い保護者がゆっくりと自分の時間を過ごせる空間があるのも、魅力のひとつです。

地域交流イベント

毎月土曜日1回 不定期開催

わたしたちは地域住民同士のつながり、専門機関・専門職間のつながり、さらには住民と専門機関のつながりなどが不足していると感じていました…。『つながり』や『ネットワーク』の創出元になるように、地域交流の機会を月に一度ではありますが開催いたします。
親子や多世代、色々な方が楽しめるイベント作りをおこなっていきたくと想います。

こども食堂

～おむすびころりんへの思い～

私ども愛敬園では保育園を運営する社会福祉法人として
長きにわたり「こどもの育ち」「保護者の働く」を
応援させていただいてきました。

その経験の中で、食の重要性を痛感してきました。

おむすびころりんでは
こどもの成長・発達に大切な食事の時間は
素材や食材はもちろん

だれと
どこで
どんなものを
どんな面持ちで
どんな話をしながら

を大切にしていきたいと考えています。

ここRoute148でおこなう、愛敬園のこども食堂は
親子、家族のはぐくみの時間を大切にし、こども食堂に関わる全ての
方々にとってこの時間が、笑顔であふれ、話題の絶えないひと時を
提供できるような運営に努めてまいりたいと思います。



北星学園大学「畑ゼミ」の参加

この事業を通して、地域ニーズの発掘や調査、研究を担ってまいります。
大学・学生と協働し、有識者の見地からの意見や、福祉実践の見地、学生視点、地域住民の見地から本事業の成果を、『北海道』と『札幌市』に報告、説明をおこない、公助の制度化に向けた、意見陳情までをおこないます。

